

2017年7月（第130回）例会のご案内

やいろ鳥の会 会長 坂本 勲

HP <http://khj-yairo.org/>

E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp

○ 今月の親講座・7月30日(日)

会場 高知市東部健康福祉センター2階研修室

時間 午後1時半から午後4時半

講師 松田勝氏 香川^ほい^ほ農園

テーマ 「ひきこもりの理解と対応」

行動には意味があります。子どもの日々の行動から変化を読み取り回復へとつなげていきます。すべきこととしてはいけないことを学習しますので是非参加してください。

今年も梅雨の季節になりました。

ジメジメしますが農業のためにはなくてはならない雨を降らせてくれます。何事も二つと良いことはないのかもしれないかもしれませんね。ひとつの事だけに囚われているのではなく別の受け取り方はできないかと角度を変えて考えてみましょう。案外、楽しい発見があるかもしれません。物事はその受け取り方で意味が違ってくるように思いませんか・・・

前回の親講座

6月25日に「生きることの意味」というテーマでたんぽぽの大崎先生に講義をお願いしました。大崎先生は詩を書くことと並行してたんぽぽ教育研究所で来る人の話を聞いて、その人の苦しみに寄り添うことをしています。苦しみを聞くとともにご自身の苦しみにについても話されることがあるようです。人が持つ苦しみは話し合うことで苦しさが減り共感が生まれてくるようです。たんぽぽ教育研究所を訪ねて薫り高いコーヒーを飲みながら自分の苦しみを話し、受け取ってもらおう。なんと素晴らしいことでしょう。

まず最初にひきこもりに対する哲学について話されました。①どう理解するか。ひきこもりは本人や家庭や育て方に原因があるわけではなく人を大切に扱わない社会のほうに原因がある。そんな社会に対する自己防衛行動である。従って本人を治すという立場には立たずに社会のほうを変えていくという立場に立つ。②ひきこもりの解決とは何か。当事者がひきこもっている自分自身を許せたときがひきこもりの解決である。就労できたとかの現象面ではなく本質面に着目する。③親として支援者としてひきこもりにどう向き合うか。完璧な親や支援者を目指さない。今ここでの最善を尽くすことと。そして人間としての成長を求め心豊かに生きる。

生きる意味について。多くの痛みや苦しみを経験した人は他の人の痛みや苦しみを理解できるようになる。人の痛みや苦しみに寄り添える時、本当の共感が生まれる。困っている人を助けることほどの幸せはない。自分が困っていても人を助けることで不思議な幸せを得ることができる。一生懸命人を助けようとしている時に気づくのは、実は自分は人に助けられているという幸せ。「普通の幸せ」をつかめないとわかった時、「不思議な幸せ」はあなたのすぐそばまで来ているかもしれません。

生きる意味を求めて彷徨ってもどこにもない。生きる意味は自分が痛みや苦しみを引き受けて生きていくのだという決意と生きざまの中にある。人生の幸せというモノサ

シは一つではない。不思議な幸せというモノサシもある。

アンケートの中にも次のようなコメントがありました。*詩を読みながらのお話し、たくさん学べました。「ふしぎな幸せ」が感じられるようになることが私の夢です。*人並みの人生から外れたところから始まるのがその人オリジナルの人生。この言葉で心が楽になりました。



写真や県外の親の会の会報やタイムリーなお知らせを適宜配信しています。ご希望の方は会長あてにメールを送ってください。 Ja5cin@arion.ocn.ne.jp です。

電話相談 随時電話相談をお受けしています。携帯 090-3184-8109(坂本)まで。

7月30日日曜日は 香川^県レ^ポレ農園の松田勝先生です

親講座は高知県の自殺対策緊急強化事業の補助金で運営されています。

日時 7月30日(日) 13:30~16:30 無料です

★13:00~13:30 受付 年会費徴収等

★13:30~13:40 やいろ鳥の会事務連絡他

★13:40~16:30 講義、休息、質疑応答

★テーマ 「ひきこもりの理解と対応」

会場 高知市東部健康福祉センター 2階 研修室

高知市葛島 4-3-3 ☎088-882-9380

やいろ鳥の活動カレンダー

- ◆8月20日・日曜日 森下徹氏(元当事者)
.....元当事者が語るひきこもりからの脱出計画.....
- ◆8月27日(日) 高齢家族の交流集会 市民の会エスポワール in 京都へ参加予定
午後1時半から東本願寺北隣 しんらん交流館 参加者は全部で6名
- ◆9月24日・日曜日 講師未定
- ◆10月28-29日 KHJ 全国大会 in 東京
- ◆11月12日 ひきこもり・つながる一かんがえる 対話集会ファシリテーター研修会
- ◆来年1月21日・日曜日 公開講演会 講師 森田洋司鳴門教育大学大学院特任教授
午後2時から4時 かるぼーと11階 大講義室
- ◆来年2月25日・日曜日 ひきこもり つながる一かんがえる 対話交流会 in 高知
KHJ 家族会本部主催 赤い羽根基金補助金で全国展開している交流会です。

地域ひきこもり支援センターでの相談などについて

ひきこもりに関する相談はどなたでも月曜～金曜に県立精神保健福祉センター ☎088-821-4966 又は ひきこもり地域支援センター ☎088-821-4508 で受け付けてもらえます。庁舎は移転しましたが(移転先は高知市丸ノ内1-7-36 興林会館4階)電話番号は変わりません。お気軽に相談や個人面談を申し込んでください。車は県庁の駐車場に止めてください。面談の場合は先ず電話で予約をとってから訪問するようにしてください。

年会費の払い込み

平成28年8月から平成29年7月までの年会費を集めています。

(家族サロンと親講座の会場でも納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい

6月16日のひきこもり支援者連絡会議(支援センター主催)から



高知城ホールで開催され、たくさんの支援機関が集まっていました。そのなかでいくつかの機関から発表されたのは、親がひきこもりを認めるとその後の回復が早くなるという事でした。

会が終わって皆さん退出していきました。



5月のある日、家族サロンが終わり皆さんこれから帰る時に K 君が一枚撮ってくれました。お菓子を食べながらいろんな話に花が咲きました。